

戦争法強行1年



発動許さず廃止を

安倍自公政権が戦争法の成立を（和歌山）などの国民の怒りが持続強行して19日で1年。この日を中心して、集会・デモ、宣伝行動が全国各地で取られます。取り組みの呼びかけには「民主主義は黙らない」

日本共産党

9.19全国行動 声あげよう

- ◆大阪 改憲許すな!戦争法を廃止へ! おおさか総がかり集会 午後2時、大阪市・うつぼ公園(東園)、集会後パレード。実行委員会主催
- ◆兵庫 県下総がかり宣伝 午前11時半、神戸市・三宮マルイ前。憲法改悪ストップ共同センター主催/ 午前11時半、神戸市・元町東口。戦争をさせない1000人委員会・ひょうご主催
- ◆京都 街頭演説会・デモ 午後4時半、京都市役所前。憲法共同センターよびかけ
- 22日 安保法制廃止・立憲主義の回

近畿の主なとりくみ(日付の場合記載は19日)

- 復求める京都大集会 午後2時、京都市・円山音楽堂。京都弁護士会主催
- ◆滋賀 戦争法廃止!いっせい行動 午後0時半、大津市・パルコ前交差点付近。憲法を守る共同センター主催
- ◆奈良 戦争する国づくり、安倍政権NO!明文改憲を許さない!奈良県民集会 午後4時、近鉄奈良駅行基広場前集合。憲法共同センター主催
- ◆和歌山 違憲立法・安全保障法制(戦争法)ただちに廃止!和歌山アピール行動 午前10時、和歌山城西ノ丸広場。憲法9条を守る県民の会など主催

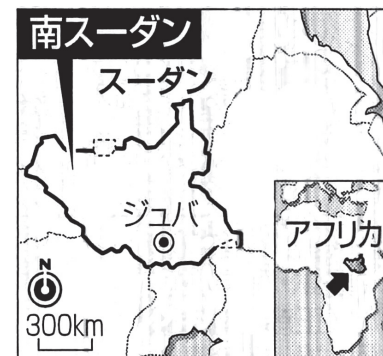
▲国会を取り囲み、戦争法案廃案、安倍首相退陣を求めてコールする人々。2015年8月30日、国会正門前

折り目

戦争法 運用段階に

「殺し、殺される」危険が

安倍政権は、安保法制=戦争法で拡大された自衛隊の新たな任務の全面的な実行に向け、自衛隊の訓練開始に踏み切りました。戦争法は、実際に運用する危険な新段階に入りました。



自衛隊、内戦の南スーダンへ

新たな任務は、自衛隊から離れた場所で襲撃されている他国軍への加勢・支援(「駆けつけ警護」)や他国軍と一緒に宿営地を守る「宿営地共同防護」など。自己防衛のためだけだった武器使用は「任務遂行」まで拡大されます。

11月にも派遣へ

新任務が想定されるのは南スーダンPKO(国連平和維持活動)。11月にも派遣予定です。現地は事実上の内戦状態。南スーダン派遣で新任



米軍普天間基地で新しい防空装備を米海兵隊に披露する自衛隊員

日本共産党

務が付与・実行されれば、自衛隊員が戦後初めて「殺し、殺される」事態が起こりかねません。

憲法9条を破壊する戦争法の発動を許さず、廃止へ声を上げましょう。

近畿民報

2016年9月 No.3(第244号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンピース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。